

平成29年7月26日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

記

農薬名：ボデーガード豆つぶ250（登録番号：第23723号）

適用拡大登録月日：平成29年7月26日

適用拡大登録内容：

- 作物名「移植水稻」に適用雑草名「オモダカ、イヅノヤヌカグサ」を追加する。
- 作物名「移植水稻」の使用方法「湛水散布又は湛水周縁散布」を「湛水散布、湛水周縁散布又は無人ヘリコプターによる散布」に変更する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ イヅノヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後5日～ /ビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	250g/10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人ヘリコプター による散布

テフトリオンを含む農薬の総使用回数	フェントキサミドを含む農薬の総使用回数
2回以内	1回

注意事項の変更：

【追加部分】

- オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用すること。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意すること。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布する。
 - 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

【変更前】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2. 5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2. 5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ミズガヤツリは4葉期まで、オモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨：

【追加事項】

- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。

以上